

消防総第698号
平成28年12月5日

関係機関 御中

消防庁総務課長
(公印省略)

平成29年度「消防防災科学技術研究推進制度」研究開発課題の公募について

平素から消防行政につきまして深い御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度消防防災分野における競争的研究資金制度である「消防防災科学技術研究推進制度」について、平成29年度研究開発課題の公募を開始いたしました。

本制度は、公募の形式により消防機関が直面する課題の解決に向けて、研究内容に高い意義が認められる提案者に対して研究を委託し、国民が安心・安全に暮らせる社会を実現するものです。

また、公募対象となる研究開発課題は、政府方針や消防庁の重要施策、消防防災機関のニーズを踏まえて設定されています。

つきましては、貴会会員の皆様に周知いただきますとともに、本制度への積極的な応募にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、本制度は中小企業技術革新制度（日本版SBIR）の対象となっており、中小企業者や大学の研究者等の方が研究成果を実用化する際、様々な支援が受けられます。

詳細につきましては、報道資料（別添）及び下記URLに掲載しております公募要領をご参照ください。

公募要領掲載アドレス（URL）

http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList4_2/h29koubo.html

<連絡先>

消防庁総務課（消防技術政策担当）

中越・小林

Tel : 03-5253-7541 Fax : 03-5253-7533

Mail : o.kobayashi@soumu.go.jp

平成28年12月 5日
消 防 庁

「消防防災科学技術研究推進制度」平成29年度研究開発課題の募集

「消防防災科学技術研究推進制度」は、消防防災行政に係る課題解決や重要施策推進のための研究開発を委託する競争的資金制度です。

平成29年度は、「科学技術イノベーション総合戦略2016」（平成28年5月24日閣議決定）等の政府方針や消防防災行政における重要施策等を踏まえ、下記のとおり研究開発課題を募集します。

1. 募集期間

平成28年12月5日（月）～平成29年2月6日（月）17時まで

2. 対象とする研究開発課題（募集概要は別紙1を参照）

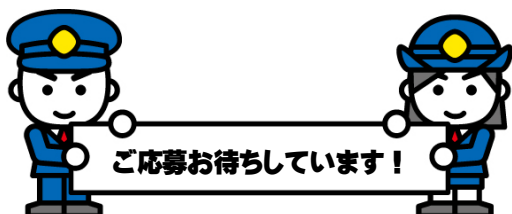
区 分		研究開発実施期間
テーマ設定型研究開発 ・消防庁があらかじめテーマ（別紙2参照）を設定したもの	・重要研究開発プログラム ・重要施策プログラム	1年間、2年間又は3年間で、対象とする技術ごとに設定する目標時期までに、所要の成果を達成出来る期間
テーマ自由型研究開発 ・研究者が自ら設定したテーマによる提案を受け付けるもの	・現場ニーズ対応型 ・研究成果実用型 ・地域スキーム導入型 ・新手法開発型	1年間又は2年間

※平成29年度は、テーマ設定型研究開発を優先的に採択することとしています。

※これまでに採択された代表的な事例については、別紙3をご参照下さい。

3. 応募方法

公募要領に従い、府省共通研究開発管理システム（e-Rad）により応募を行ってください。



< 担当 >

消防庁総務課（消防技術政策担当）

中越・小林

Tel : 03-5253-7541 Fax : 03-5253-7533

Mail : o.kobayashi@soumu.go.jp

「消防防災科学技術研究推進制度」平成29年度研究開発課題の募集概要

テーマ設定型研究開発 ※消防庁があらかじめテーマを設定

区分	概要	経費等	実施期間
重要研究開発プログラム	「科学技術イノベーション総合戦略2016」（平成28年5月24日閣議決定）、「世界最先端IT国家創造宣言」（平成28年5月20日閣議決定）、「日本再興戦略」改訂2016（平成28年6月2日閣議決定）等の政府方針や消防機関のニーズを踏まえ定めた重点研究開発目標を達成するため、消防研究センターにおける直接研究や消防庁の調査検討事業等に資する技術の研究開発を募集	最大2,600万円/年 （直接経費≒ 2,000万円/年） 〔採択予定〕1件程度	対象とする技術ごとに設定する目標時期（最大3年間）までで、所要の成果を達成出来る期間を提案下さい。
重要施策プログラム	以下の分野について、消防庁の重要施策の推進に資する技術の研究開発を募集 〔募集する技術の例〕 ○危険物屋外貯蔵タンクの津波・水害による滑動等対策工法の確立 ○外国人来訪者等が利用する施設における避難誘導のあり方等に関する研究	最大2,000万円/年 （直接経費≒ 1,500万円/年） 〔採択予定〕2件程度	

テーマ自由型研究開発 ※テーマ設定を含め提案を受付

区分	概要	経費等		実施期間
		テーマ自由枠A	テーマ自由枠B	
現場ニーズ対応型研究開発事業	消防機関が直面する課題を解決するためのシーズを活用した研究で、消防機関の具体的なニーズが存在し、その成果の導入が見込める研究開発を募集（研究開発成果の導入を予定している消防機関が参画する場合に限る）【A, B】	最大1,300万円/年 （直接経費≒ 1,000万円/年） 〔採択予定〕 最大1件程度	最大260万円/年 （直接経費≒ 200万円/年） 〔採択予定〕 最大5件程度	1年間 又は 2年間
研究成果実用型研究開発事業	消防防災分野における既存の基礎・応用研究等の成果のうち、その実用化や現場への導入について、消防機関等の具体的なニーズが存在する研究開発を募集（研究開発成果の実用化や現場への導入を予定している消防機関等が参画する場合に限る）【A, B】			
地域スキーム導入型研究開発事業	地域の消防防災力の向上を実現するため、学術研究に基づく効果的なスキームをモデル地域に導入するとともに、他の地域への展開を目指す研究開発を募集します。【B】			
新手法開発型研究開発事業	消防機関等が抱える課題をはじめ、消防防災分野の様々な課題に対し、新たな視点からのアプローチにより解決を目指す研究、または、そのアプローチを行う上での基盤となる研究開発を募集（研究の方向性について、消防機関等から適切なアドバイスを受けることが必要）【B】			

※申請経費が少額であり、成果を達成する見込みの高い優れた申請がある場合は、予算の枠の中で予定件数以上の採択を行う場合があります。

（注）平成29年度においては、テーマ設定型研究開発を優先的に採択することとしています。